

給食センター 運営審議会だより

令和5(2023)年 2 月 1 日

運営審議会会長：山上 真哉

記録担当：二小・三小

配布担当：各校委員

令和4(2022)年度 第3回 国立市立学校給食センター運営審議会

日時 令和4年11月18日(金) 午後2時～午後2時50分

場所 国立市立学校第一給食センター2F大会議室

委員 出席15名

事務局 3名(土方給食センター所長、宮本主査、久保主査)

議題 (1) 事業報告について [資料1-1] [資料1-2] [資料1-3]
(2) 研修視察について [資料2]
(3) その他



議事録及び資料は
市のwebサイトで

議題 (1) 事業報告について

▶前回会議以降(9/22～11/18)の主な出来事を報告

[資料1-1] 令和4年度事業報告より(抜粋)

- 9/26 第三小学校2年3組の「すいとん汁」に異物が混入
- 10/5 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会給食運営管理研究部会
- 10/7 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会
- 10/12 未就学児向け保護者等向け見学および試食会(～11月1日 7回実施)
- 10/21 第六小学校3年生 給食センター訪問
- 10/27 学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について(お知らせ)全校配布
- 11/1 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会
- 11/4 エコール辻東京 教員・学生 センター見学および試食
- 11/9 第二中学校3年3組・5組の「5品目の胡麻味噌汁」に異物が混入
- 11/11 第七小学校1年生 給食センター訪問
- 11/17 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会場長会

▶牛乳・給食の放射能測定結果

[資料1-2] [資料1-3] 学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について
(10月分) (11月分)より

- ・株式会社同位体研究所による検査にて、まいたけ(10月25日報告)について放射性セシウム137を微量検出したため、使用を中止し、産地を変更。

【委員からの主な質問や意見】

質問1 [資料1-1]の異物混入について、以前にも異物混入があったが、異物が混入しやすい原因がある状況なのか。

回答1 開封物が多い場合は、前日に口頭で注意を促しており、今後も行っていくが、異物混入の原因は様々で一律に防ぐことは難しい状況。

質問2 新しいセンターになったら、異物混入の頻度は下がるか。

回答2 調理部門は、シダックス大新東ヒューマンサービスに委託する。異物混入の頻度は減らしていかなければならないので、連絡を取り合い、統括責任者に伝える。

意見 [資料1-2][資料1-3]国立市が放射性物質の厳しい基準を設けていることをアピールするよう前回の審議会で提案し、今回、その点が改善され文言が強調されていた。保護者にとっての安心につながったと考える。

事務局 ご提案を頂き、直ちに改善した。

質問3 9月の異物混入は、パッケージを切った際の上端が入ったものか。大きさはどのくらいか。

回答3 梱包袋の上を切ったものが入った。幅1センチ×長さ10センチ程度のビニール片。

質問4 11月の異物混入は原因特定に至らなかったが、この給食センターでの調理時に混入したものか。

回答4 テプラで作成したラベルが劣化し剥がれてしまったようなビニール片であったが、給食センターの調理場内にはそれと合致するものがなかった。ただ、2クラスに混入したので、同じ釜での調理時に入った可能性が高い。納品時か、調理過程のどこで混入したのかは特定できていない。

要望 9月の異物混入は、梱包を切った片割れが入ってしまったので非常に分かりやすく、突き合せれば特定できるが、11月の混入は2か所というのが気になる。調理工程ではなく、原材料の段階で混入の可能性もある。原因の把握や再発防止に繰り返し取り組むことでヒューマンエラーは防ぐことができるので、引き続き取り組んでもらいたい

質問5 地場野菜会議とは、具体的にどのようなことが行われているか。

回答5 毎月上旬に開催することが多く、献立に使用する食材の中で国立市の農家から納品できる野菜を協議し決める会議。その後、物資選定委員会の入札を行う。

質問6 異物混入について、ヒューマンエラーを防ぐこと以外に、新センターに移るまでに今のセンターでできること、新センターで期待できることはあるか。

回答6 ・提供食数量が多いので難しいと思うが、目視での食材の検品をしっかりと取り組んでもらうこと。
・調理器具からの混入を防ぐため、調理場に私物を持ち込まないことや整理整頓を行うこと。

質問7 未就学児保護者等向けセンター見学及び試食会は、新センター移行後に規模拡大などの計画はあるか。

回答7 未就学児に関しては、来年度も継続予定。新センター移行後は、老若男女問わず皆様に来ていただけるよう企画をしていきたい。

質問8 未就学児への働きかけは各保育園・幼稚園への呼びかけか。

回答8 今回はスケジュール上、市報には載せられなかったが、市HPやTwitter、各園長宛にチラシを配布した。今後は就学前健診日の決定が早ければ、市報の他「くにたちの教育」等でもPRしたい。

質問9 ビニール片の混入について、梱包袋から全て切り離さず取っておくとのことだが、切った梱包袋を置く場所やダブルチェックするなどの運用はされているか。

回答9 まずは切り離さないというのが大前提。切り離した際にはダブルチェックを指導している。

要望 ヒューマンエラーはあると思うので、袋置き場を設置、開封作業自体を2人以上で行う、トリプルチェックをするなど要望策の強化をお願いしたい。

議題（2）視察研修について

複数の委員から視察先の提案があった。提案内容を事務局で検討し以下の理由により視察先を選定した旨の発表があり、運営審議会にて、承認された。

【視察先】

- ・ 国立市内の地場野菜生産農家
- ・ エディブル・スクール・ヤード（食育菜園）の実践校である多摩市立愛和小学校

【視察日】

2023年1月26日（木）

【視察のスケジュール】

集合→国立野菜生産農家の見学→多摩市立愛和小学校視察と意見交換→国立市の給食試食

【選定理由】

- ① 来年度、第2学期より稼働予定の新しい学校給食センターでの運用を見据えて、市の組織全体で食育推進に力を入れていきたいと考えている。視察を通じて、今後、食育関連に対して貴重な御意見や御助言をいただく場にしたいため。
- ② 近年、中止も含め共同調理場、いわゆるセンター方式で給食提供をしている施設の視察を企画していたことが多かったため、視点を変え、新たに子供たちの地域とのつながりや食と農に関連した事柄もよいのではないかと結論に達したため。

【委員からの主な質問や意見】

質問1 新給食センターの関係者も一緒に、この視察に来ることは可能か。

回答1 新給食センターの事務局と一緒に同行する。また、多摩市立愛和小学校の視察に関しては、国立市教育委員会の仲立ちで今回の実施となった経緯がある。当然、教育委員会も視察の実施を把握しているので同行することは可能と考える。

質問2 コロナウイルスの影響で視察が中止になる懸念がある。視察が中止になった場合の代替案はあるか。なければ、中止の場合に備えて代替計画をお願いしたい。

回答2 視察は畑や校庭の菜園など屋外中心で、学校を通じて外部で関わっている方からお話を伺うので、実施できる可能性は例年より高いと認識している。ただ、リスクは多少なりともあるので、その代替案についても検討したい。

(3) その他

質問1 来年度、新給食センターの試食会の企画をしている。収容人数と申込期日についてお伺いしたい。

回答1 児童・生徒対象の講習は100人の定員。試食を伴う場合は80人の定員である。定員を上回る人数の場合は、2回に分けるか、時間をずらすかのご対応をお願いしたい。申込期日は、まだ不確定。現状では、実施日の前週の火曜日までとしている。

報告 前回の会議で「小学校1年生の給食の開始時期を早めて欲しい。」という要望があった件について、校長会で共有した。今後改善に向け各小学校と行事のすり合わせを行う方向で改善を心がける合意形成はできた。次年度の予定を決めるタイミングで、委員から引き続き働きかけもあるとより具体的な改善につながるのではと考える。

提案 新センターに移行の際、現在の学校給食センターで保管している写真や紙媒体での資料は、電子化やデータ化するなどの方法で、記録の保存を提案する。貴重な資料であると考えている。

《学校給食センターにある写真や紙媒体資料の例》



事務局 大変貴重な意見と考える。対応を検討する。

事務局 次回は、令和5年1月26日の木曜日に、国立野菜生産農家の方との懇談及び多摩市立愛和小学校への視察を予定している。ご参集をお願いする。